

# 『廃園』 井本元義



花の精、花の香、花の色  
それは美しく、妖しげに揺れる業火  
妖花が悪夢を呼び.....退廃の美へ

その時私はあっと声を上げた。荒涼とした風が沸き起こり、丘の上に広がる空の闇が布のように二枚にめくれ、大きくはためいて揺れた。そしてお互いに包みあうように丸まり、私を飲み込もうと覆いかぶさってきた。それは巨大な食虫花の漆黒の花弁だった。

装丁・装画 宮島亜紀

定価:本体 1500 円+税 ISBN978-4-86385-352-2  
AMAZON で購入可

(株)書肆侃侃房(しよしかんかんぼう)

## 【著者プロフィール】

井本元義 (いもと・もとよし)

1943 年生まれ 九州大学物理学科卒

詩集『花のストイック』『レ・モ・ノワール』『回帰』

小説『ロッシュ村幻影』

第 1 回 新潮新人賞佳作 「鉛の冬」

第 35 回福岡市文学賞 『花のストイック』

第 9 回文芸思潮まほろば賞 「トッカータとフーガ」

仏政府主催 仏語俳句大会グランプリ

筆者ブログ: <https://blog.goo.ne.jp/imotomotoyoshi2>

あるいは「あちらこちら文学散歩」で検索